

辺野古通信

第32号 2012年12月7日



11/29 南関東防衛局前



12/5 厚木基地前

発行 沖縄の自立解放闘争に連帯し、反安保を闘う連続講座(沖縄講座@横浜)

沖縄講座 HP <http://www.7b.biglobe.ne.jp/~okinawa-koza/>

12.23 普天間・怒りの御万人大行動へ！厚木行動へ！

■突然の衆議院解散・総選挙で、沖縄県内41市町村と議会による空前の規模の政府・国会要請行動は延期となった。もちろん原発政策も重要だが、選挙戦の中で、沖縄政策、対米外交がほとんど争点化しないのはどうしたのか。■そんなうわついた選挙ムードの中、沖縄から「12.23 怒りの御万人(うまんちゅ)大行動」の呼びかけが発せられた。沖縄の空も大地も海も、沖縄のものだ！日米の軍事植民地状況からの脱却を求める沖縄の声に、ヤマトから応えよう！■米兵による事件が止まらない。10月19日に在日米軍に発令された「夜間外出禁止令」など何の歯止めにもならない。11月2日読谷村で男子中学生が、酔って住居侵入した米兵に殴打された。18日那覇市内で酔った米海兵隊中尉が住居侵入で逮捕。20日に日米首脳会談で野田首相が再発防止をオバマ大統領に要請しても何の効果もない。22日うるま市内で建造物侵入容疑で米兵逮捕。(この日は神奈川県内でも2件、米兵と家族の逮捕。)・・・基地と軍隊、日米安保と地位協定がある限り、沖縄の軍事植民地状況が解消されない限り、米兵による事件は根絶できない。■「振興策を利益誘導だというなら、お互い覚悟を決めましょうよ。沖縄に経済援助なんかいらぬ。税制の優遇措置もなくして

ください。そのかわり、基地は返してください。(中略)いったい沖縄が日本に甘えているんですか。それとも日本が沖縄に甘えているんですか」ーこれは安保容認の保守を自認する翁長那覇市長の発言(11/24 朝日新聞)。保守の仲井真知事も、選挙で政権がどうなろうと主張は変えない、と明言している。「沖縄はできることを全てやりきってきた。」(11/4 全国集会での桃原さんの発言)ー問われているのはヤマトの闘いだ。■オスプレイの全国各地での低空飛行訓練が迫る中、首都圏でも様々な取組みを展開中。11月4日の芝公園での全国集会とデモには4000人が参加した。沖縄講座も参加している基地撤去をめざす県央共闘会議は、厚木爆同、厚木第四次爆音訴訟団、神奈川平和運動センターと連携し、神奈川での取組みを強めている。11月29日には南関東防衛局へ、12月5日には厚木基地へ抗議申入れ行動を実施した。(3・4頁) 12.23 普天間「怒りの御万人大行動」に呼応して、「オスプレイの沖縄配備に反対する首都圏ネットワーク」と共催で、厚木基地行動を呼びかけている。沖縄講座は、沖縄現地への呼びかけに応じて普天間行動に参加すると共に、厚木行動にも合流します！

■辺野古・高江カンパは累計1,340,405円(12月6日現在)。引続きカンパを！
郵便 00210-O-2021 沖縄連続講座

オスプレイ配備撤回！米兵による凶悪事件糾弾！怒りの神奈川行動へ

12月23日(日)13時半 東柏ヶ谷近隣公園(相鉄線さがみ野駅南口5分)

沖縄の怒りの御万人(うまんちゅ)大行動に呼応し、厚木基地に抗議の声を浴びせよう！ 14時 デモ出発。多くの参加を！

主催：厚木爆同・第四次厚木爆音訴訟原告団・基地撤去をめざす県央共闘会議・神奈川平和運動センター・オスプレイ沖縄配備反対首都圏ネット

11. 4全国集会(東京・芝公園)に4000人!



「沖縄は日米共同の軍事植民地だ」(沖縄平和運動センターの山城事務局長の発言)
「沖縄県民は、夜、安心して道を歩くことも、家で安心して眠ることもできないのか。」(普天間爆音訴訟団の桃原事務局次長)

11月4日、「止めるぞ! オスプレイの沖縄配備 許すな! 低空飛行訓練」全国集会が東京タワー直下の芝公園で開催され、約4000人が参加した。主催はフォーラム平和・人権・環境、オスプレイの沖縄配備に反対する首都圏ネット。集会会場には、思い思いの言葉を書き付けたプラカードや、主催者が用意した色とりどりの風船があふれた。

主催者あいさつに立った平和フォーラム事務局長の藤本泰成さんは、「アメリカで飛ばないオスプレイが、なぜ日本の空を飛ぶのか。事故が起きてからでは遅すぎる」「主権者である私たちの思いを実現する、アメリカに従属しない安全保障を作りあげよう」と訴えた。沖縄平和運動センターの山城博治さんは、「沖縄は日米共同の軍事植民地。12月中旬に普天間基地に万余のデモをかけ、ゲートを封鎖する。全国之力で闘い抜く」と力強く決意表明。普天間爆音訴訟団事務局次長で宜野湾市議の桃原功さんは「沖縄県民は夜安心して道を歩いたり、家で眠ることもできないのか。県民はいつまで我慢すればいいのか」と怒りに声を震わせ、「沖縄ではできることは全てやりきってきた。本土との温度差を感じる。オスプレイの低空飛行訓練は全国の問題でもある。」と全国の取組み強化を訴えた。非核市民宣言運動・ヨコスカの新倉裕史さんは、渉外知事会への要請や県民アピールなど基地県神奈川からの取り込みを報告。アジア女性資料センターの本山央子さんは「軍隊と性暴力は切



っても切れない。米軍が上陸したその日から事件は起きていた。そして性犯罪が起こるたびに『女のほうが悪い』と言われてきた。裁く法律もないことが、米軍をのさばらせてきた」と厳しく糾弾した。岩国からのメッセージが読み上げられた後、オスプレイの訓練移転地の一つに挙げられたキャンプ富士の地元・静岡平和運動センターの鈴木孝雄事務局長は「この国に民主主義がないのか。政治を変えないといけない」と訴えた。

集会の最後に三線の演奏で「沖縄を返せ」を参加者が合唱し、風船とプラカードが配られ、デモに出発。「オスプレイも海兵隊も出て行け」とコール。アメリカ大使館に近づくと、足を止め、ドラムを連打して激しく抗議。ぽかぽか陽気の澄み切った青空に、約4000人の怒りの声が響き渡った。



11月29日

南関東防衛局(横浜市内)へ抗議申入れ行動



11月29日午後、神奈川平和運動センター、厚木爆同、厚木第四次爆音訴訟団、基地撤去をめざす県央共闘会議の四団体は、防衛省南関東防衛局に対し、オスプレイ配備撤回を求める要請行動を展開した。参加者は約100人。

13時半から防衛局庁舎前で神奈川平和運動センター小原事務局長の司会で前段集会。横断幕と厚木爆同の赤いゼッケン姿が庁舎に出入りする市民から、注目を浴びた。

厚木爆同の藤田委員長は「沖縄に呼応して神奈川でも様々な行動が予定されている。本日の要請行動を皮切りに、オスプレイを追い出す取組みを強めよう」と挨拶。県央共闘の篠原事務局長は「日米両政府は安全だというのが、私たちは騙されない。」と訴えた。参加者全員で「オスプレイはアメリカに帰れ!」「厚木に来るな!」のシュプレヒコールを浴びせ、14時から庁舎1階の大会議室へ。

防衛局からは企画部調整課課長補佐など4名が出席。まず藤田委員長から「沖縄では日米の約束を反故にするような飛行訓練が展開されている。オスプレイの飛来が予想される厚木基地を抱える地元としても、日本国民としても、我慢できない。地元の折衝窓口である南関東防衛局には、正確な情報を出す責任がある。オスプレイを厚木に来させないようにしてほしい、沖縄からも撤去してほしいという思いを込めて要請したい」と冒頭発言。山本達夫南関東防衛局長宛の要請書を読み上げ、やり取りに入った。

交渉団は、オスプレイはいつ厚木に来るのか、厚木基地をどのように使うのか、追及。防衛局側は『広く本土に飛来する』というのが米軍の見解。この中には厚木も含まれていると考えている」と

いう11月2日の防衛大臣答弁を繰り返し「いつ厚木に飛来し、どのように使うのかは承知していない」と答えた。交渉団から「11月12日に防衛省調整課の部長と面会した時に、『後方支援と補給、整備の関係で厚木に飛来する』と明言している。聞いていないのか」「事前情報もなくいきなり飛来することもあるのか」と問いただすと、やり取りを中断して本省に確認に行く場面も。結局、「11月12日のやり取りについては確認できない」としたが、「いきなりということがないようにしたい。引き続き情報収集に努め、新たな情報が入れば情報提供する」と約束した。しかし、配備撤回要請については何ら回答はなく、交渉団からは「防衛局長か次長に面会させよ」と申し渡した。

最後に厚木爆同藤田委員長が、「我々の要請の趣旨は、オスプレイ配備の撤回。せめて地元窓口である南関東防衛局として情報提供はきちっとしていただきたい。」と締めくくった。

この日、大和市議会で「MV-22 オスプレイの訓練で厚木基地を使用しないように求める決議」が全会一致で採択され、国と厚木基地、在日米大使館などに郵送された。厚木基地周辺自治体のオスプレイに関する議会決議は、内容に濃淡はあるが、6月25日座間市議会、9月4日綾瀬市議会でも可決されている。大和市議会の決議文は以下のとおり。

在日米軍による新型垂直離着陸輸送機 MV-オスプレイの訓練において、米側が厚木基地の使用を検討していることが報道された。/厚木基地は周辺に250万人が住む人口密集地である。大和市民は日ごろから米空母艦載機の訓練により、耐えがたい騒音と事故の不安に苦しめられている。/本年2月にも電子戦機 EA6B ブラウワーの機体の一部が落下する事故があったばかりであり、さらに MV-22 オスプレイの訓練において、厚木基地が使用されることは容認できない。/よって、大和市議会は MV-22 オスプレイの訓練における厚木基地の使用及び訓練ならびに訓練ルートでのトラジットは行なわないよう強く求める。

平成24年11月29日 大和市議会



12月5日

厚木基地に対する抗議・申入れ行動にも100人！



12月5日、厚木爆同・第四次爆音訴訟原告団・基地撤去をめざす県央共闘会議・神奈川平和運動センターの4団体は、厚木基地に対し、オスプレイ配備と米兵による凶悪事件に抗議する要請行動を展開した。14時、基地正門前に約100人が集結。頭上をヘリや戦闘機が爆音を轟かせて飛び回っていた。赤いゼッケンとプラカードを基地に向けてオスプレイ配備撤回をアピールする中、代表が要請文を読み上げ。米軍広報官に厚木爆同藤田委員長から手渡した。参加者から「オスプレイはいつ来るのか」「米兵の凶悪事件に対してどう考えるのか」と問い質したが、

明確な答えはなかった。不誠実な対応に、参加者全員で怒りのシュプレヒコールを浴びせ、行動を終了した。



オスプレイ配備撤回！米兵による凶悪事件糾弾！怒りの御万人大行動(平和フォーラムHPから)

県民の猛然たる反対を押し切って、2012年10月1日、普天間基地に強行配備された米海兵隊新型輸送機オスプレイに対する県民の抗議行動は、その後もやむことなく、野嵩ゲート、大山ゲートで連日続けられています。その主力は、平和市民連絡会・普天間爆音訴訟団・嘉手納爆音訴訟団に結集する65歳以上の熟年者市民が中心です。一方で平和運動センターも、金曜日夕刻の定例行動を続けています。さらには、高江では5年以上、辺野古では16年以上、最近では与那国における自衛隊基地建設に反対する取り組みが始まり、それぞれ各地で激しい闘いが個別に続けられています。/「オスプレイ配備絶対反対」に総結集する県民世論と、その行動に対して、政府は機動隊を差し向けて抗議する県民を排除するとともに、普天間基地のゲートを引き続き大部隊の機動隊で警護しています。今や普天間基地は、県民の怒りに包まれ、機動隊の警護なしにはゲート管理もままならない事態に追い込まれています。他方で、オスプレイ反対！米軍反対！の県民世論に反発するかのように、米兵による凶悪事件が頻発しています。許しがたい女性に対する性暴力、民家へ乱入しての蛮行。戦場で戦うことを義務づけられた兵士たちに、市民社会におけるルールが守れずはつきりありません。最早、基地や兵士たちとの共存は不可能なのです。それなのに、政府は読谷で発生した事件に関し、藤村官房長官が早々と犯人の兵士を逮捕しない方針を表明しました。まさに怒りに油を注ぐ行為。沖縄の怒りは沸点に達しています。/このように緊迫する米軍・自衛隊基地をめぐる情勢を受けて、あらためて、オスプレイが配備された普天間基地へ断固たる抗議を行うとともに、続発する米兵による凶悪事件を徹底して糾弾し、また新基地建設を止めるために各地で取り組まれている「反基地」の闘いをともに支えるために以下の行動を提起するものです。さらにはオスプレイの飛行訓練が全国各地に及んでいることから、その発進拠点になっている沖縄・普天間基地に全国からの参加も呼びかけ、沖縄と全国が連帯してオスプレイの配備と飛行訓練を撤回させる取り組みを強めていく、そのことを力強く発信する行動とします。/またこの行動は、広く県民に参加を呼びかける立場から平和的かつ大規模なデモ行進を主眼とし、そのために、実行委員会を構成するそれぞれの団体が創意工夫をこらして広く団体関係者への呼びかけを行うとともに、また、県内の音楽愛好家のみなさんの協力も得て、サウンドあり、踊りありのにぎやかな演出も心がけて、より幅広い県民の参加を目指すものです。どうぞ、あらためて普天間基地への怒りの総結集を図ってまいりましょう。/NEVER GIVE UP！ 県民の決意を示していきましょう。

■日にち 12月23日(日) ■会場 宜野湾市海浜公園野外劇場(宜野湾市真志喜4-2-1)

■内容 11時～イベントー12時～集会ー13時～デモ行進スタート

15時～普天間基地・大山ゲート前抗議集会ー16時 終了予定

■呼びかけ世話人団体 普天間爆音訴訟団、嘉手納爆音訴訟団、平和市民連絡会、沖縄平和運動センター、命どう宝・さらばんじの会、中部地区労、フォーラム平和・人権・環境